

NVC Monthly



寝屋川映像同好会会報

第93号(201704)

発行 竹田 幸男



第8回ビデオ作品発表会

昨年4月から計画して、平成29年3月11日(土)に松心会館で実施しました。前回までのAVルームが今回は取れなかったため、今回初のサークル活動室での実施となりましたが、心配していた音響面や遮光などの課題も克服でき、やや広くなった会場も、そこそこの入りとなって、まずまずの発表会を実施できました。

例会の窓

平成29年3月例会

日時：3月8日（水）13：30～

場所；市民活動センター4F こども部屋

出席者：新井 小笠原 佐伯 妹尾 竹田
谷 田淵

欠席者：1名（50音順・敬称略）

例会次第

1. 報告・連絡・協議事項

(1) 会報随筆 田淵さん

(2) 3月のビデオ作品発表会の計画

・日程：3/11（土）8：45集合

・当日の持参品・特にオーディオ関係の準備品と運搬撤収方法の打ち合わせ

・テレビは前の人邪魔にならないように高い位置に置く必要がある。テーブルの上に50～60センチぐらいの台が必要か。松心会館に連絡して探してもらう。

・プレーヤーは、BDレコーダーを借りるが別途会のプレーヤーも持参する。

というのはBDレコーダーからは多分ピンプラグのオーディオラインは出ないがアンプにはピンプラグでつなぐ必要あり。テレビからオーディオアウトが出れば良いが、出なければ使えない。

・発表会作品BD、チラシ60枚、PRビデオ数枚、入会案内書、芳名簿 竹田さん

・BDプレイヤー、マイク、アンプ、スピーカー、コード、看板、筆記用具等

・椅子35席、机3台プラス1台受付用 田淵さん

・司会：田淵さん 竹田さん

・操作：小笠原さん ・写真：谷さん

・受付：佐伯さん、谷さん

作品ごとに、1分以内で作品の説明をお願いします。

・打ち上げ 和の会席 3000円 「椿」の部屋 6名予定

(3) 今年の撮影会第1回は5月頃、要望があれば。

(4) 映像協会総会

・3/26（日）13：00から総会、その後合同例会

・作品の出品：新井さん、小笠原さんの作品

・出席者：竹田さん、新井さん、谷さん

(5) フレンド会員（仮称）の構想（略）

(6) プレミア研究会（仮称）の構想（略）

3. 映写・研究発表

・3/11ビデオ作品発表会の作品 鑑賞

部分的に音声レベルが高い所があり、修正する。

4. 各会員の最近の活動状況・情報交換・当面する問題点等 省略



田淵ファミリー会を続けて19回！

田 淵 健 二

父が亡くなって“49日の法要”の時、母が結婚してからの思いを聴く。
母は、父が教職員の為5人の男の子を育てながら田畑の仕事を、又数年経過した頃お祖母さんが病に倒れ、11年間寝たきりのお祖母さんの面倒を見ながら留守宅を預かる母は結婚以来大変だったのだと 思いを新にした。

何か母に「ご苦労さん会」など出来ないかと日頃から思っていた。

丁度 母が「喜寿」を迎える年に出会ったので、兄弟夫婦をはじめ 孫達が世話になっていたので、「1泊2日」でお祝いしようと言う事になり「ファミリー会」としてスタート。第一回目は宝塚の「若水」と言う旅館で昭和58年1月15日～16日（1983年）実施。

23名が集まる（長男夫婦が お嫁さんの母と一緒に暮らしていたので参加してもらう）。19回中一番多く参加できたのは第18回の41名だった。



第1回：宝塚 「若水」(23名参加)



第15回：舞子 「舞子ビラ神戸」(36名参加)

その後 母の「傘寿」「米寿」「卒寿」は勿論のこと、我々兄弟夫婦も「還暦」仕事を辞めた時の「ご苦労さん会」などを含めて実施している。

最近では結婚・子供が誕生したなど、何かを見つけて実行している。参加費は兄弟夫婦・子供夫婦・孫達と差をつけており、世話役は兄弟夫婦が担当している。子供達・孫達はそれぞれ仕事・学校行事などがあり、スケジュールは早めに決めているのでそれぞれ日程確保に努力してくれている。仕事を終えて参加してくれる者もあり、2次会・3次会に合流してくれて居る。

子供達もさることながら、孫達が楽しみにして 集まってくれるのが何よりも有難いと感謝している。

苦労を懸けた父親には何もお礼・お祝い事などをして上げられなかったもので、兄弟一同深く反省し残念に思っている。



USBメモリ・SDカードは長持ちするか

竹田 幸男

SDカードが安く手に入るようになったので、カメラで撮影した画像データを、SDカード内にそのまま残しておこう、とされる方が多いのではないかと、思います。

しかし、ちょっと待ってください。何もかも良いことづくめではないのです。

このようなフラッシュメモリと称されるメモリでは、記憶回数の寿命と、保存したメモリが長時間のうちに消失する、という問題があります。記憶回数の寿命は数百回から、と言われますから、写真画像の保存なら1回保存するだけなので記憶回数の制限は問題が無いのですが、一方放っておくと記憶が消失する、という問題があり、記憶の保持時間は数年から10年程度、と言いますから、古い写真を見ようと思ったら、消えていた、ということも起こります。

初期のフラッシュメモリは1つの単位である「セル」に記憶できるデータが1ビットで、シングルレベルセル(SLC)と言われました。このままでは容量を大きく出来ないで1つのセルに2ビットのデータが記憶できるマルチレベルセル(MLC)が考えられ、さらに3ビットのデータを記憶できるトリプルレベルセル(TLC)へと進化しました。これによってメモリは小型になり容量も増加し、値段も安くなりましたが、そうなるに従って長期間の記憶保持が難しくなってきました。高温や放射線の照射などもデータの保持に影響がある、ということも言われています。

このような次第ですから、SDカードやUSBメモリに画像やデータを入れたまま長期間保存するのは避けた方が良いと思います。ハードディスクも突然の故障があります。今もっとも寿命が長いと思われているのが光ディスクと言われているのですが、安全のためと利便性を考え、同じデータを複数のメディアに分けてバックアップするのが安心であろうと思います。